



# 2017年10月期 第2四半期決算説明資料

2017年6月14日(水)  
株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

---

◆ 2017年10月期 上期決算の概況 P03～09

---

◆ 2017年10月期 通期業績見通し P10～21



## 2017年10月期 上期決算の概況

# 業績のポイント

## <事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、コンパクトは需要減少が続く一方、レンズ交換式は熊本地震の挽回生産もあり回復傾向
- ◆ 露光装置市場は、FPD向け好調、半導体向けも堅調に推移

## <当社業績>

- ◆ 光事業は、光学機器用レンズ材需要が低調に推移する中、生産性の改善活動に努めた結果、黒字転換
- ◆ エレクトロニクス事業は、ナノセラム™の立ち上げに遅れも、FPD露光装置や光通信機器向け製品の販売増で増益

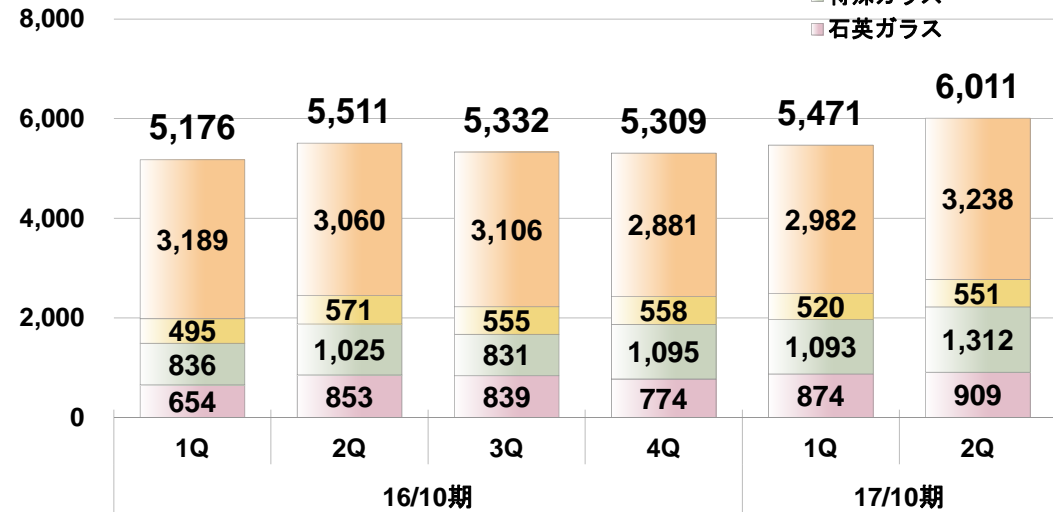
# 業績サマリー

(単位:百万円、%)

	16/10期 上期	17/10期 上期	増減
売上高	10,687	11,483	795 7.4%
営業利益	85	379	294
[営業利益率]	0.8%	3.3%	345.5%
経常利益	△158	655	814
[経常利益率]	△1.5%	5.7%	—
純利益 (親会社株主に帰属)	△351	498	850
[純利益率]	△3.3%	4.3%	—
為替レート 円/1USD	期中平均 116.71	期中平均 112.57	
円/1EUR	128.34	120.06	

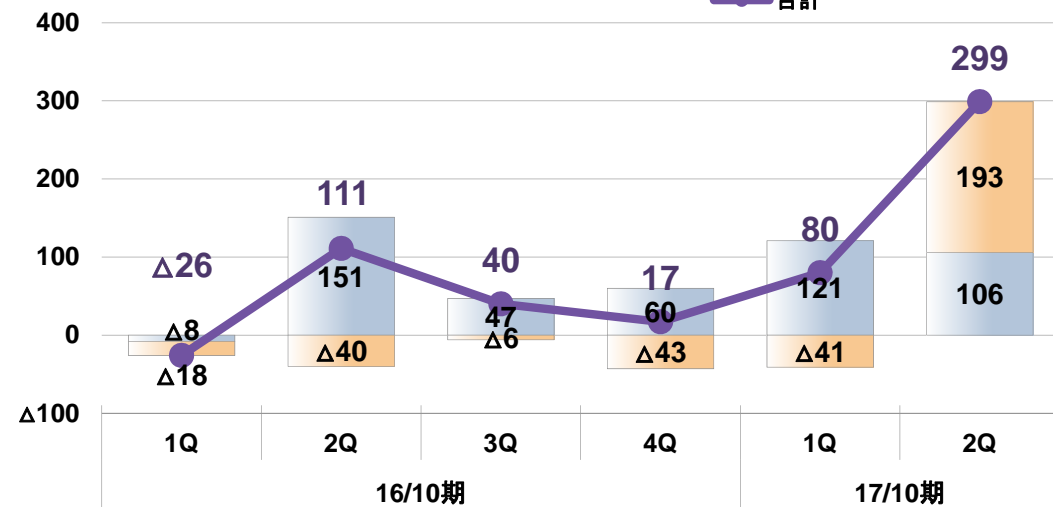
## <売上高四半期推移>

(単位:百万円)



## <営業利益四半期推移>

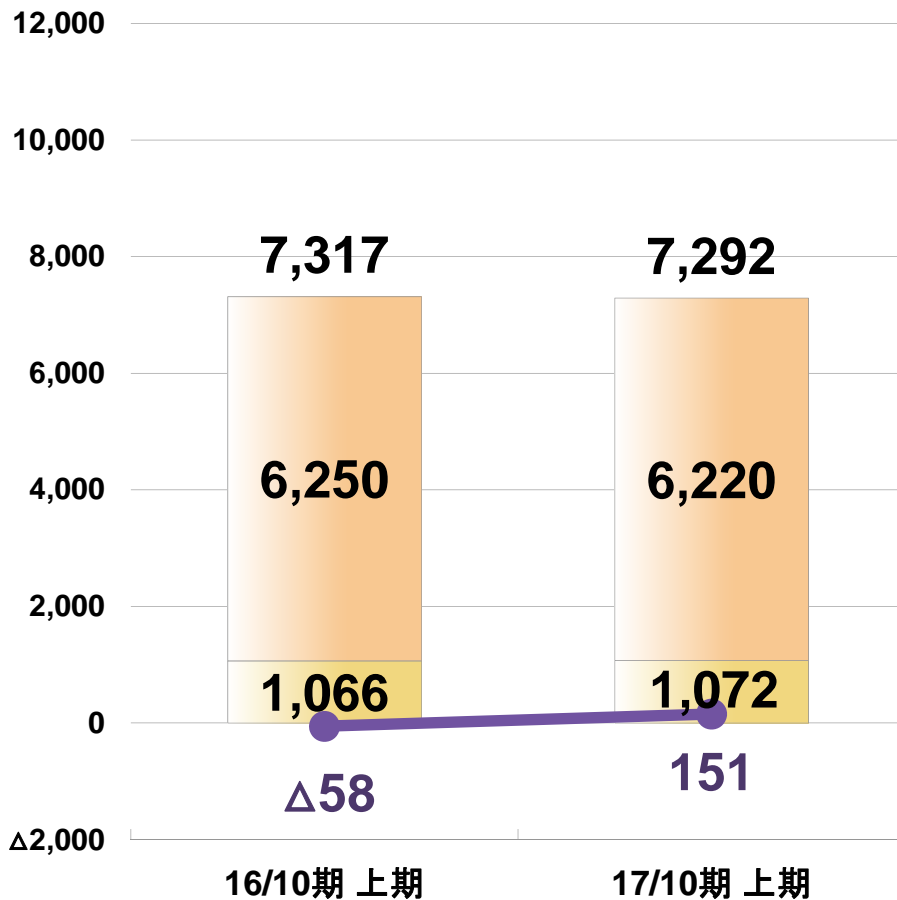
(単位:百万円)



## <上期対比>

(単位:百万円)

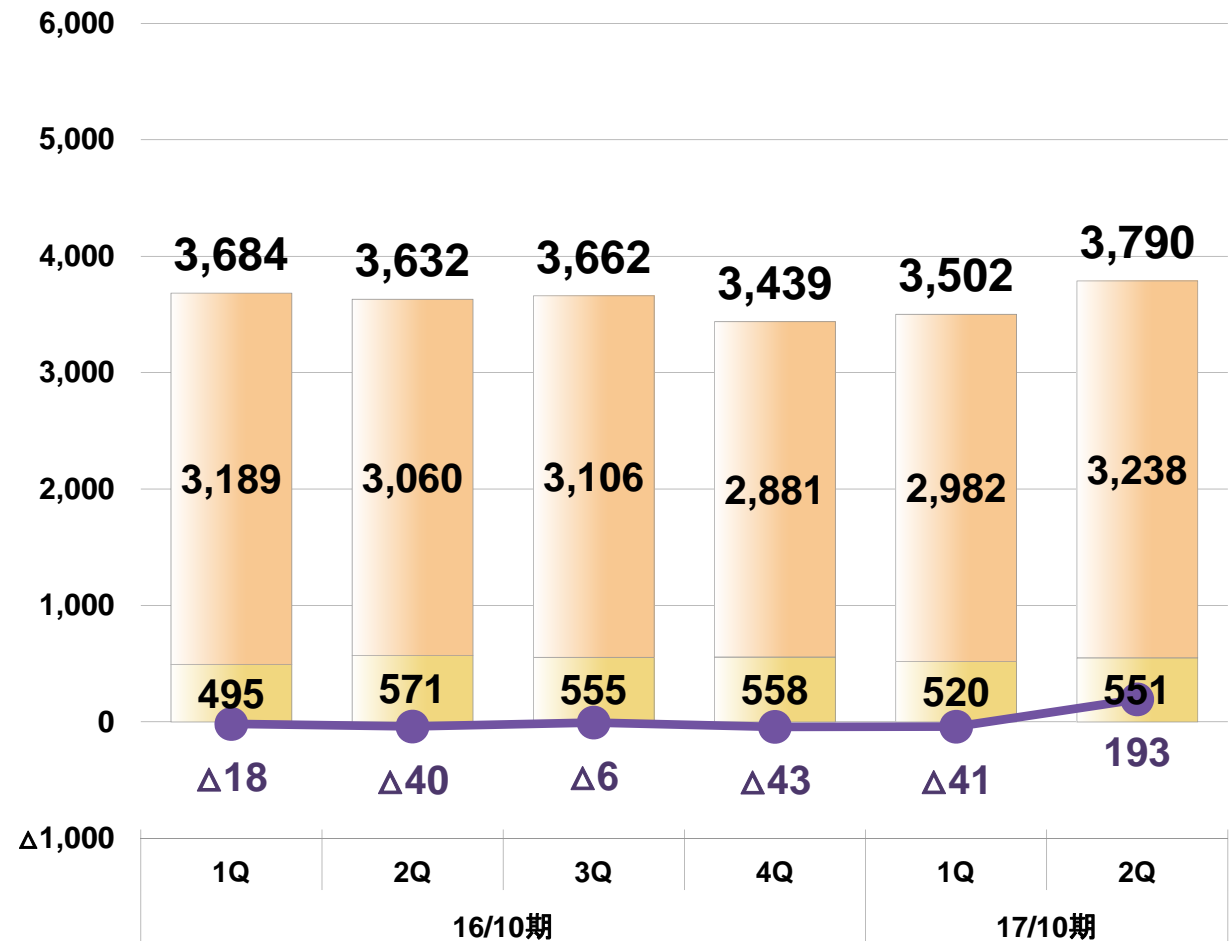
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



## <四半期推移>

(単位:百万円)

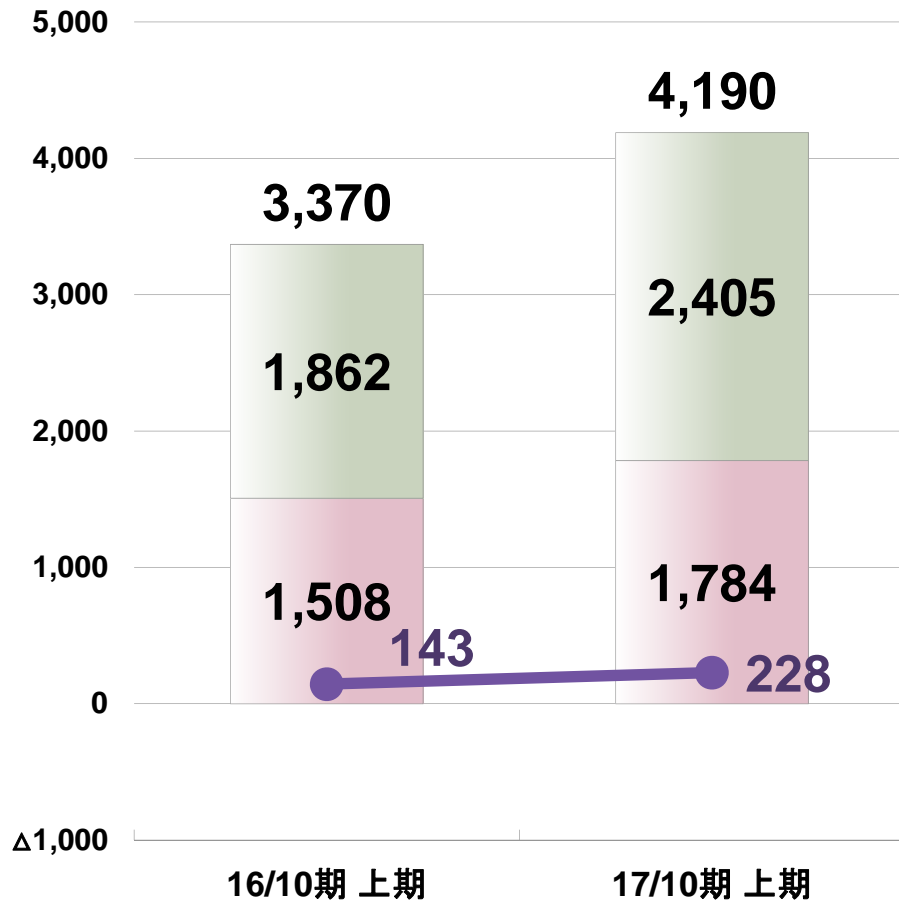
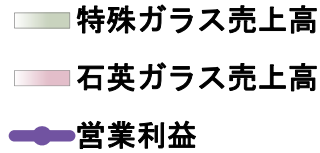
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



# エレクトロニクス事業

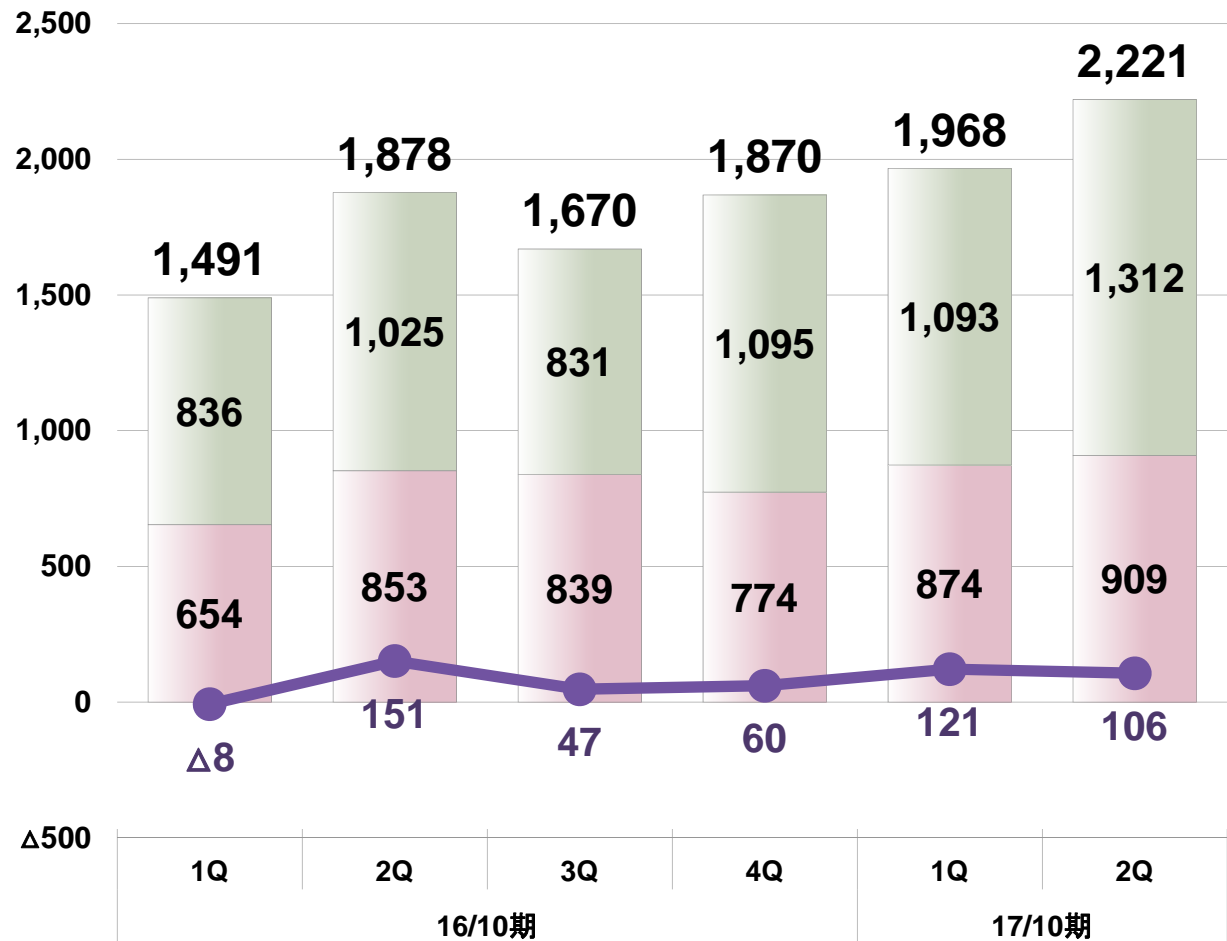
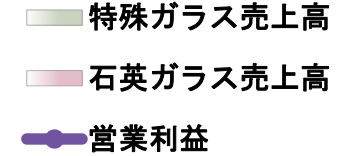
## <上期対比>

(単位:百万円)



## <四半期推移>

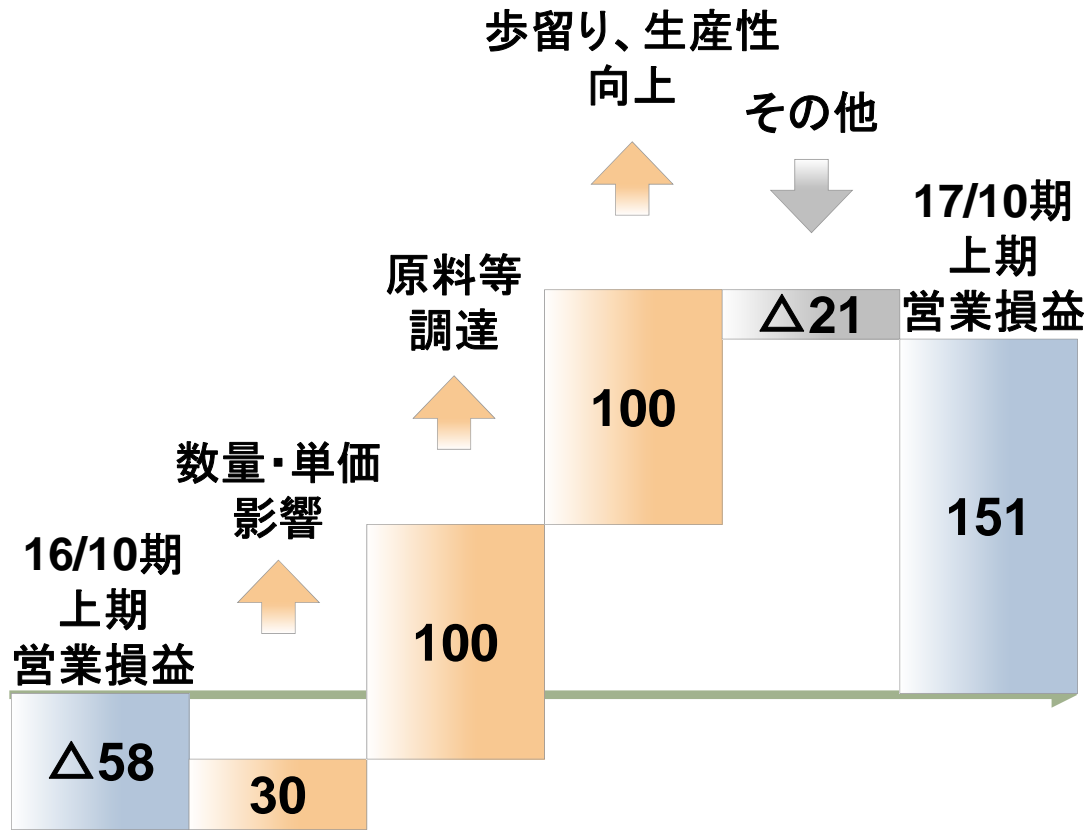
(単位:百万円)



# 営業損益増減要因

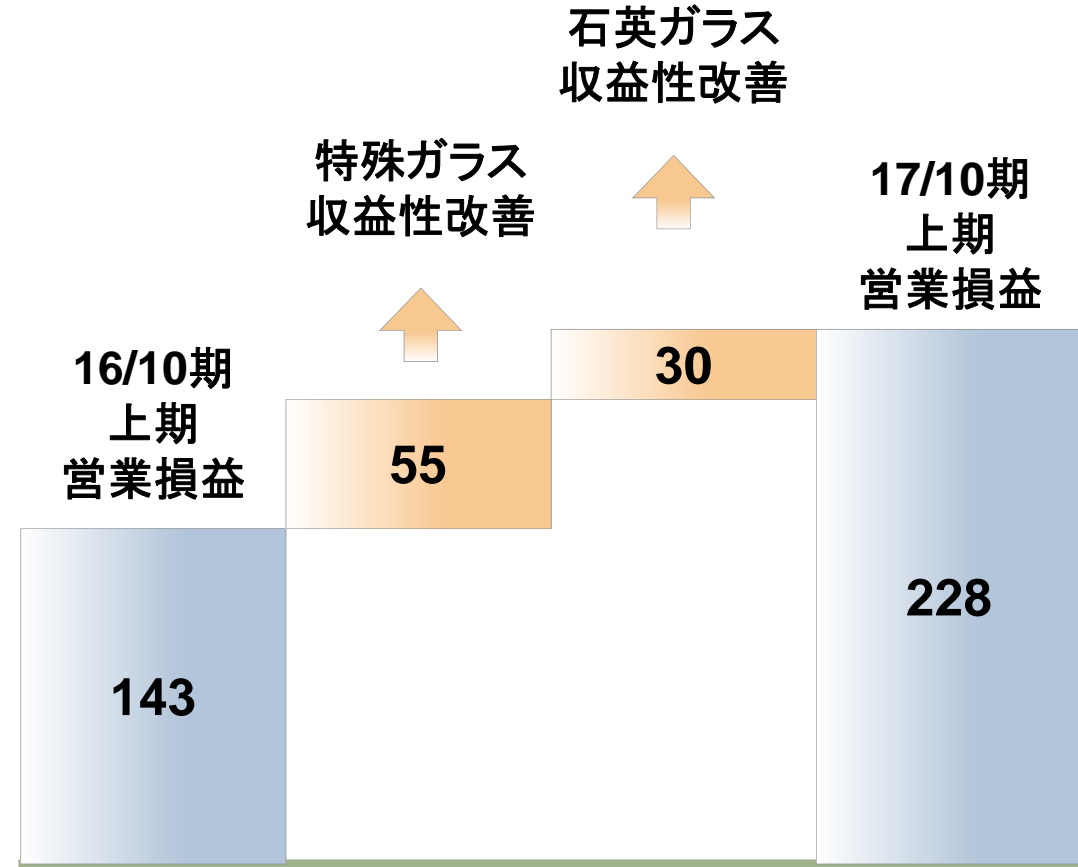
## <光事業>

(単位:百万円)



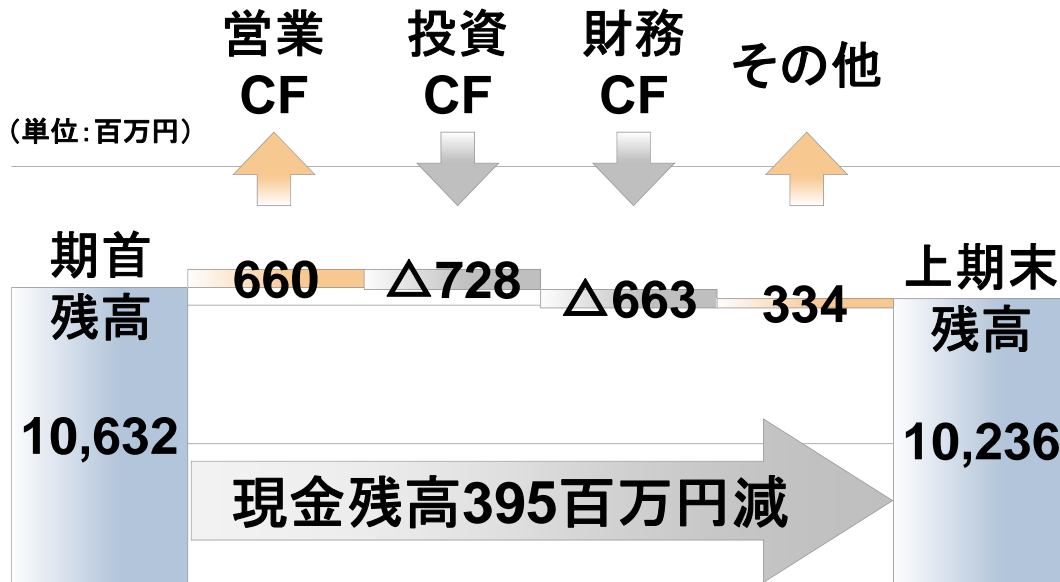
## <エレクトロニクス事業>

(単位:百万円)

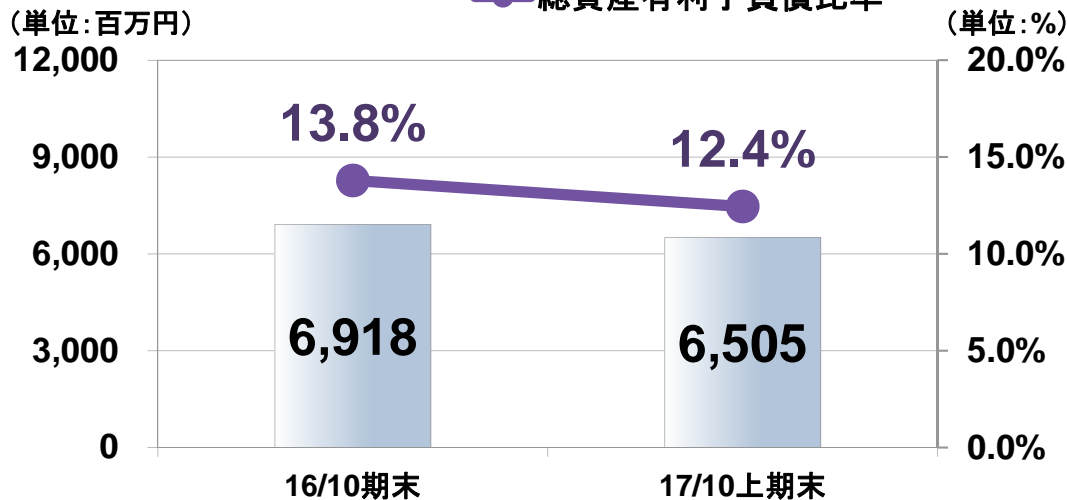




# キャッシュ・フロー



## <有利子負債>



(単位:百万円)

## 営業CF増減主要因

税金等調整前純利益	665
減価償却費	776
為替差損益	△104
売上債権の増減額	△635
たな卸資産の増減額	△219

## 投資CF増減主要因

固定資産の取得	△559
---------	------

## 財務CF増減主要因

借入金の返済	△333
配当金	△243



# 2017年10月期 通期業績見通し

# 通期見通しサマリー

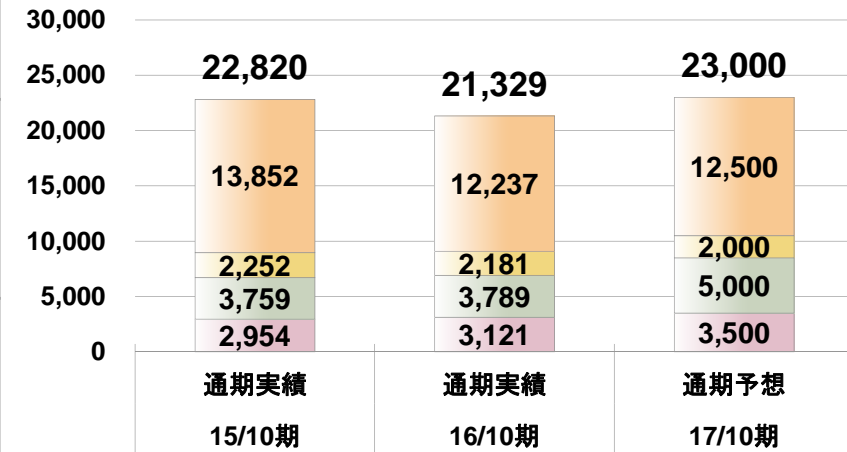
(単位:百万円、%)

	16/10期 通期実績	17/10期 通期予想	増減
売上高	21,329	23,000	1,670 7.8%
営業利益 [営業利益率]	143 0.7%	900 3.9%	756 525.8%
経常利益 [経常利益率]	△84 △0.4%	1,170 5.1%	1,254 —
純利益 (親会社株主に帰属) [純利益率]	△372 △1.7%	880 3.8%	1,252 —
為替レート 円/1USD 円/1EUR	期中平均 110.43 122.35	期中平均 105.00 110.00	

## <売上高内訳>

(単位:百万円)

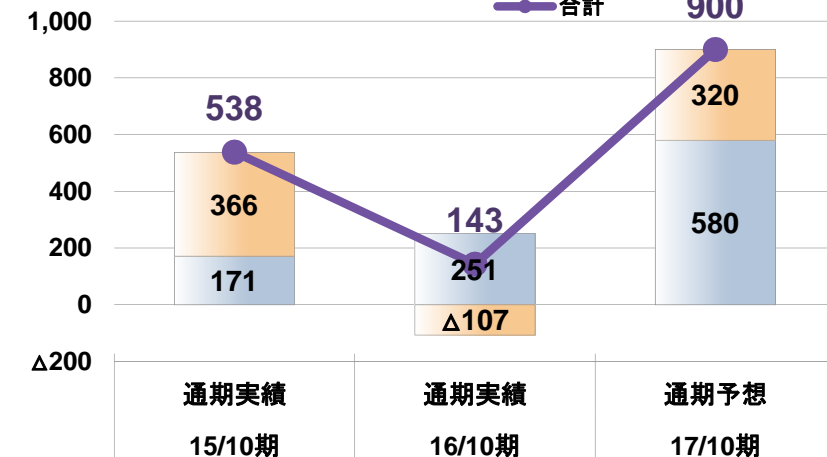
- 光学プレス品
- 光学ブロック品
- 特殊ガラス
- 石英ガラス



## <営業利益内訳>

(単位:百万円)

- 光事業
- エレクトロニクス事業
- 合計



# 光事業見通しのポイント

## <事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、減少率こそ鈍化するものの、コンパクト、レンズ交換式ともに縮小が進む
- ◆ プロジェクター、監視カメラ、車載カメラなどは高精細化が進展し、高品質な光学ガラスの需要が拡大

## <当社状況>

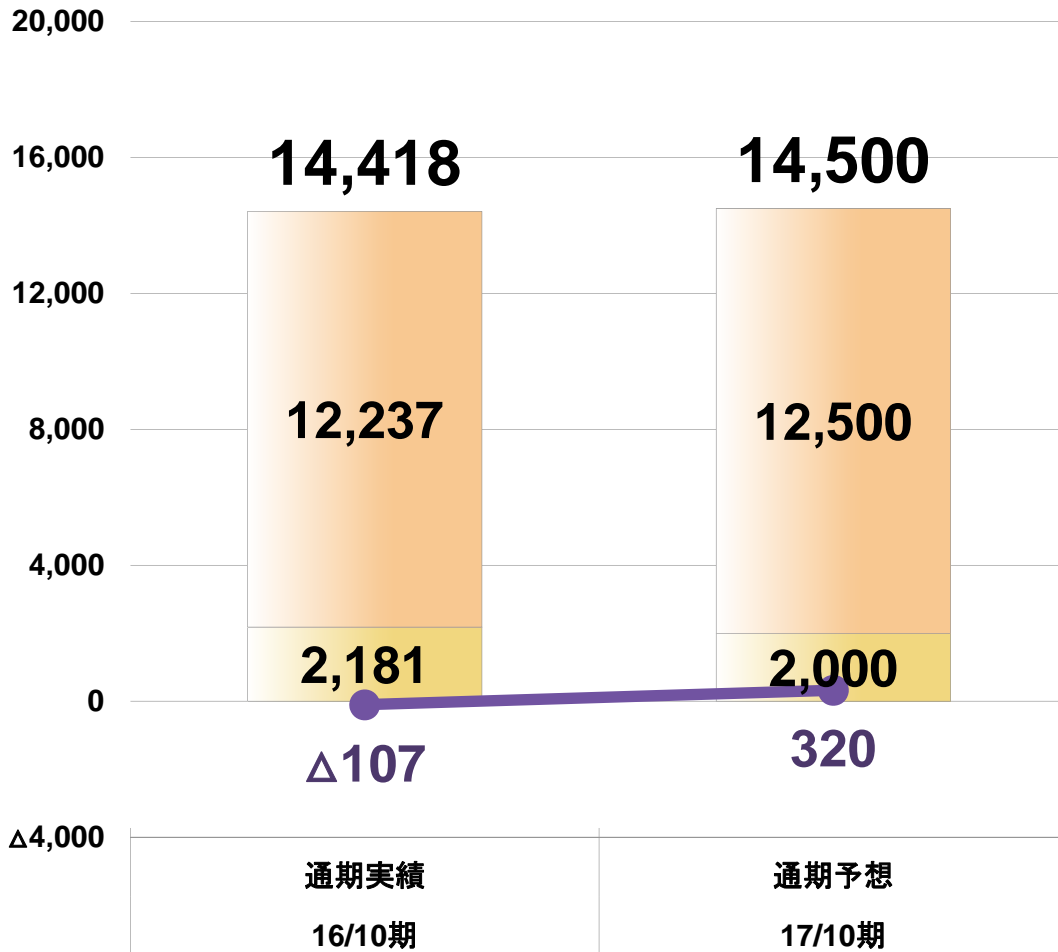
- ◆ 市場の縮小に合わせ、生産設備をエレクトロニクス事業へ移管するなど、規模の適正化を推進し、収益確保を狙う
- ◆ 高品質光学ガラスの新製品投入や、レンズ加工品のラインナップ強化などにより、利益率向上を目指す

# 光事業見通し

## <通期対比>

(単位:百万円)

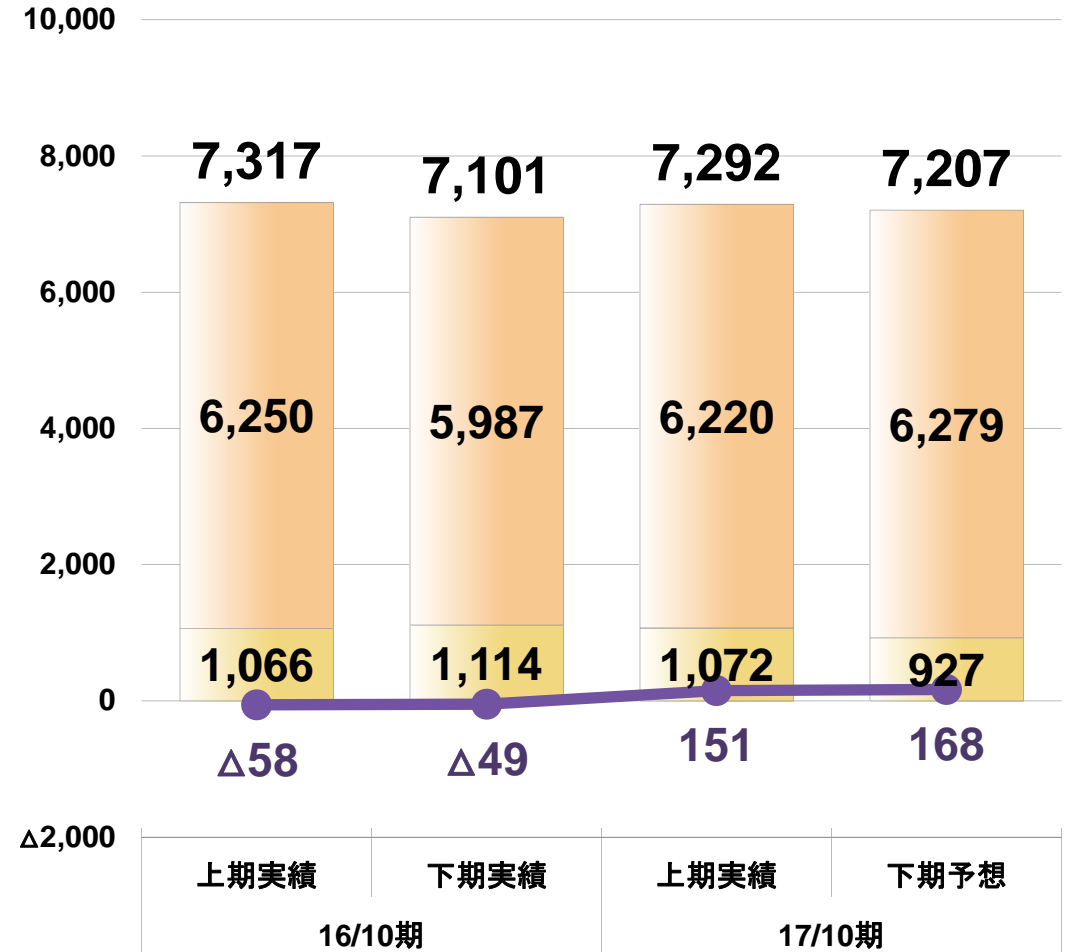
■ 光学プレス品売上高  
■ 光学ブロック品売上高  
● 営業利益



## <半期推移>

(単位:百万円)

■ 光学プレス品売上高  
■ 光学ブロック品売上高  
● 営業利益



## <事業環境>

- ◆ 露光装置市場は、FPD向けが好調に推移、半導体向けも3D NAND関連設備投資を背景に需要回復
- ◆ 大型天体望遠鏡など、宇宙・天文関連の需要は、堅調に推移する見込み

## <当社状況>

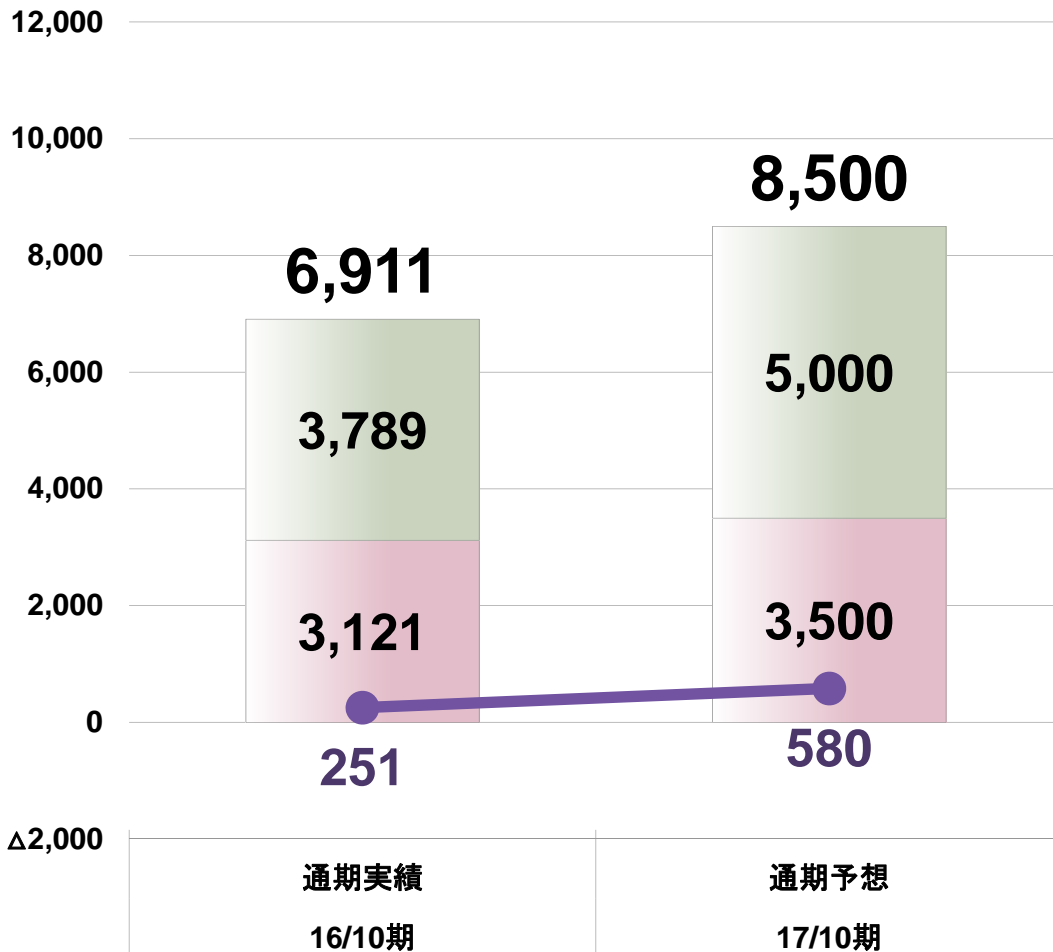
- ◆ 耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム™」はスマートフォンのカバーガラス向け立ち上げに遅れ
- ◆ FPD露光装置向け極低膨張ガラスセラミックスや石英ガラスの需要は、好調に推移する見込み

# エレクトロニクス事業見通し

## <通期対比>

(単位:百万円)

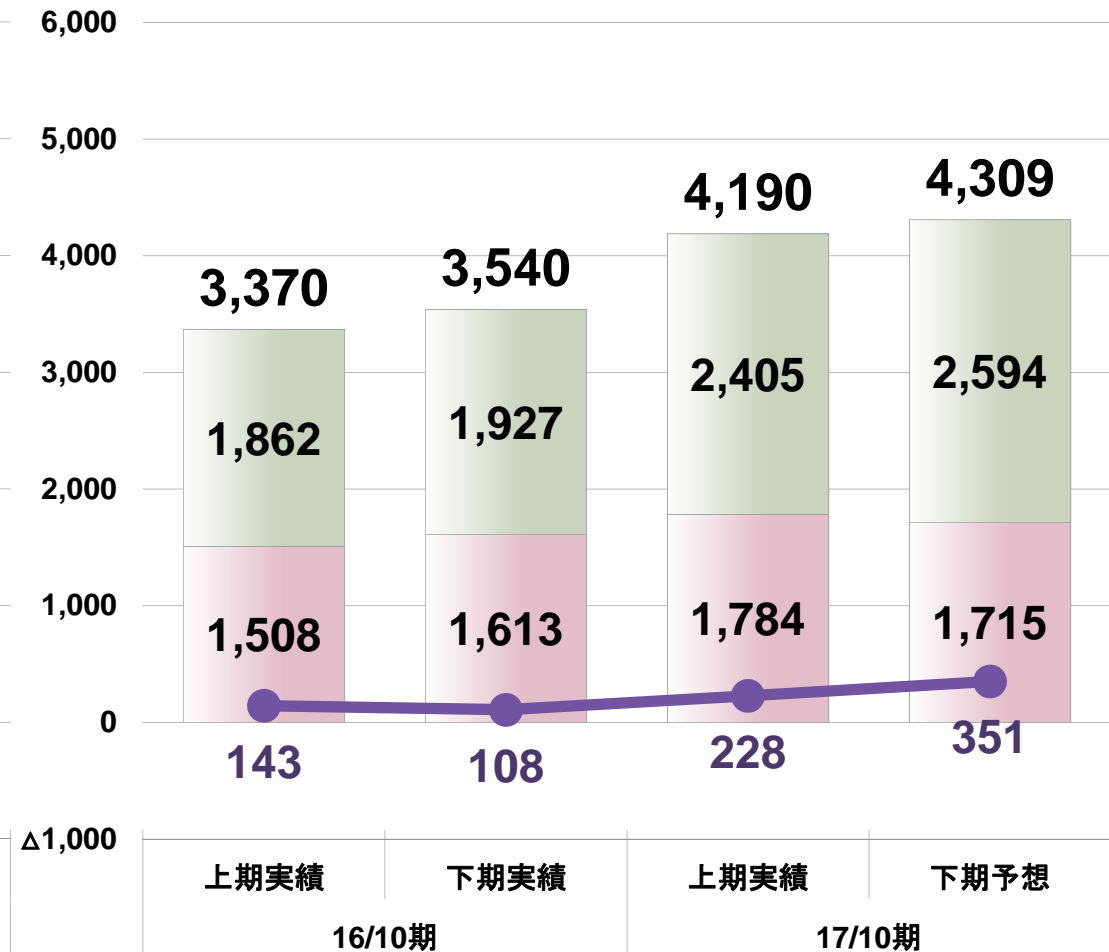
■ 特殊ガラス売上高  
■ 石英ガラス売上高  
● 営業利益



## <半期推移>

(単位:百万円)

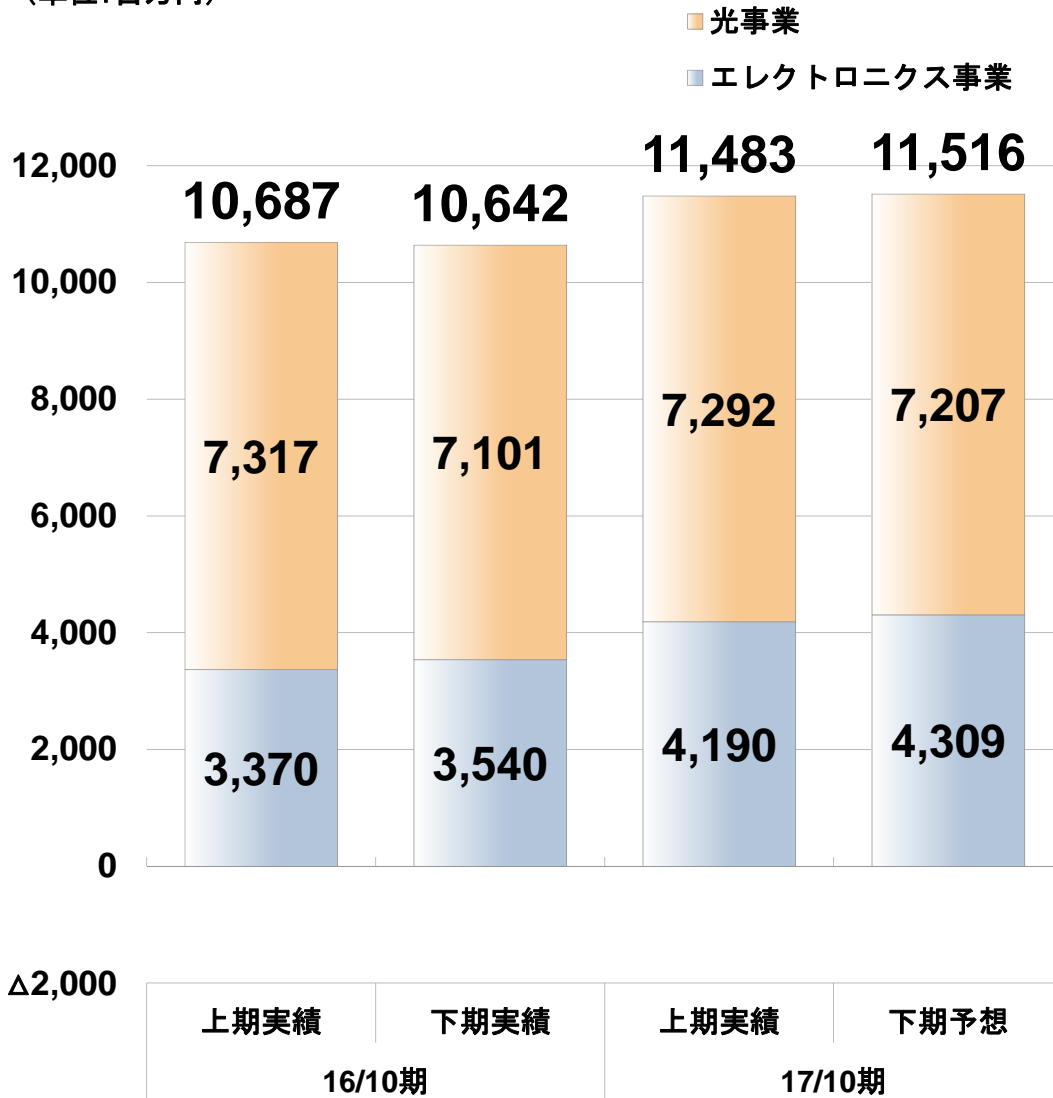
■ 特殊ガラス売上高  
■ 石英ガラス売上高  
● 営業利益



# 見通し数値まとめ

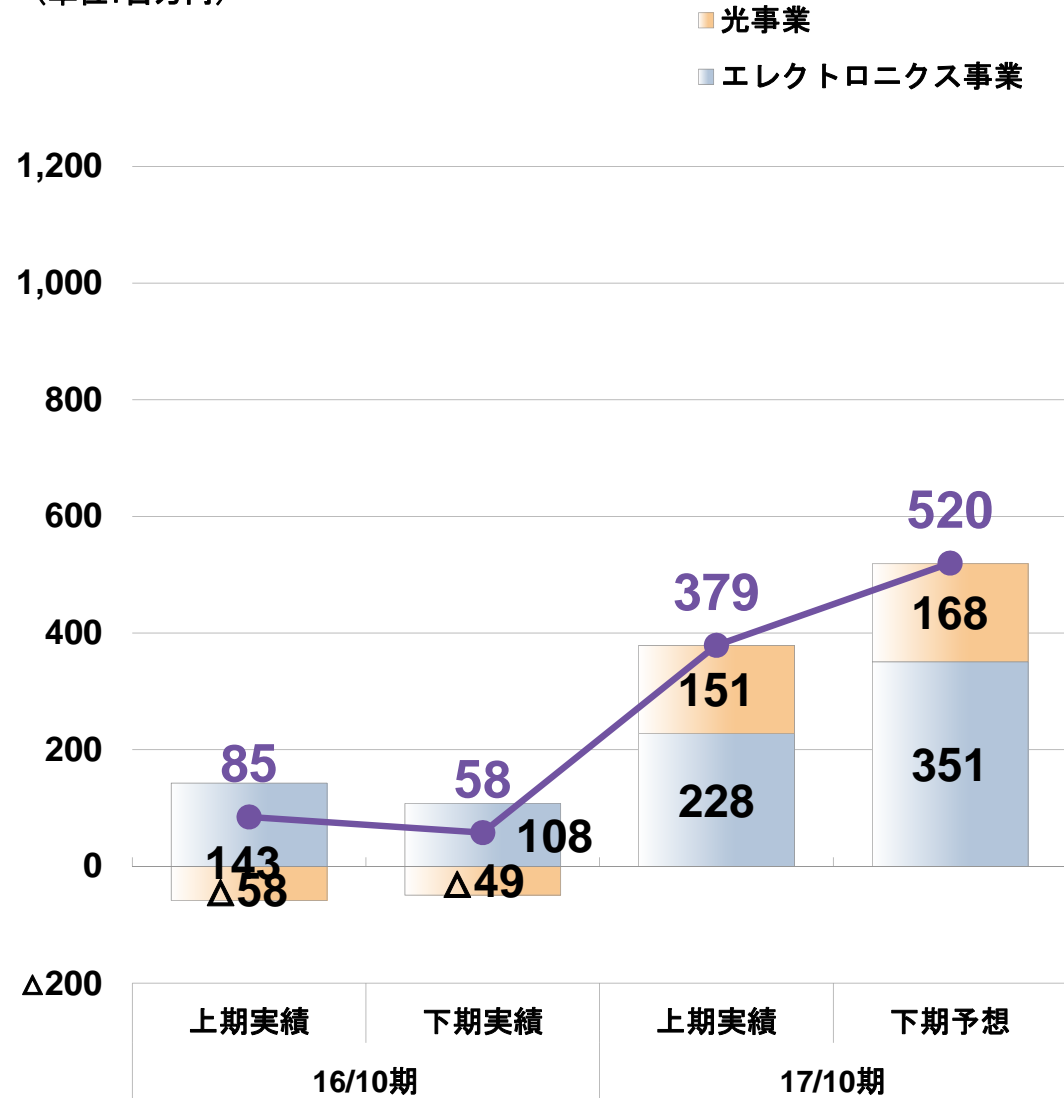
## 売上高

(単位:百万円)



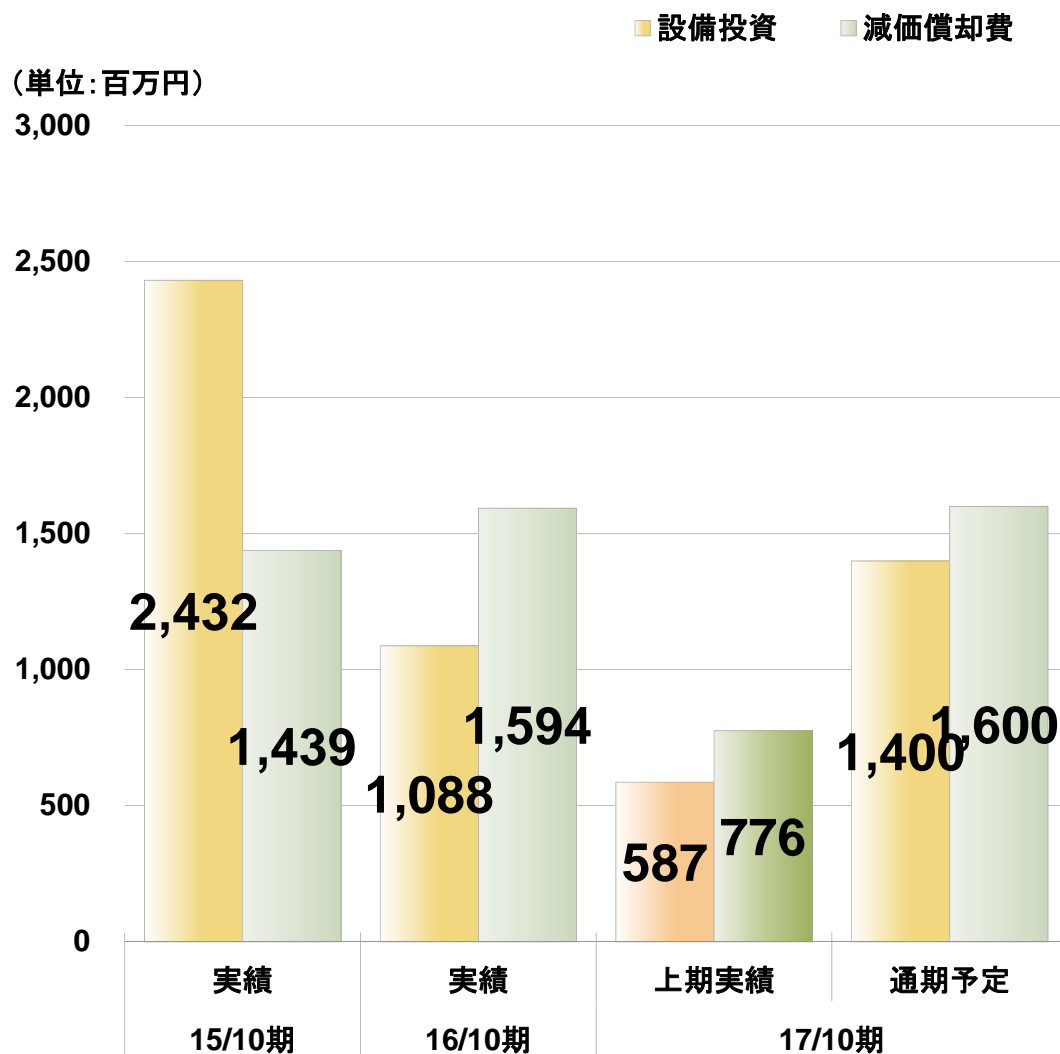
## 営業利益

(単位:百万円)

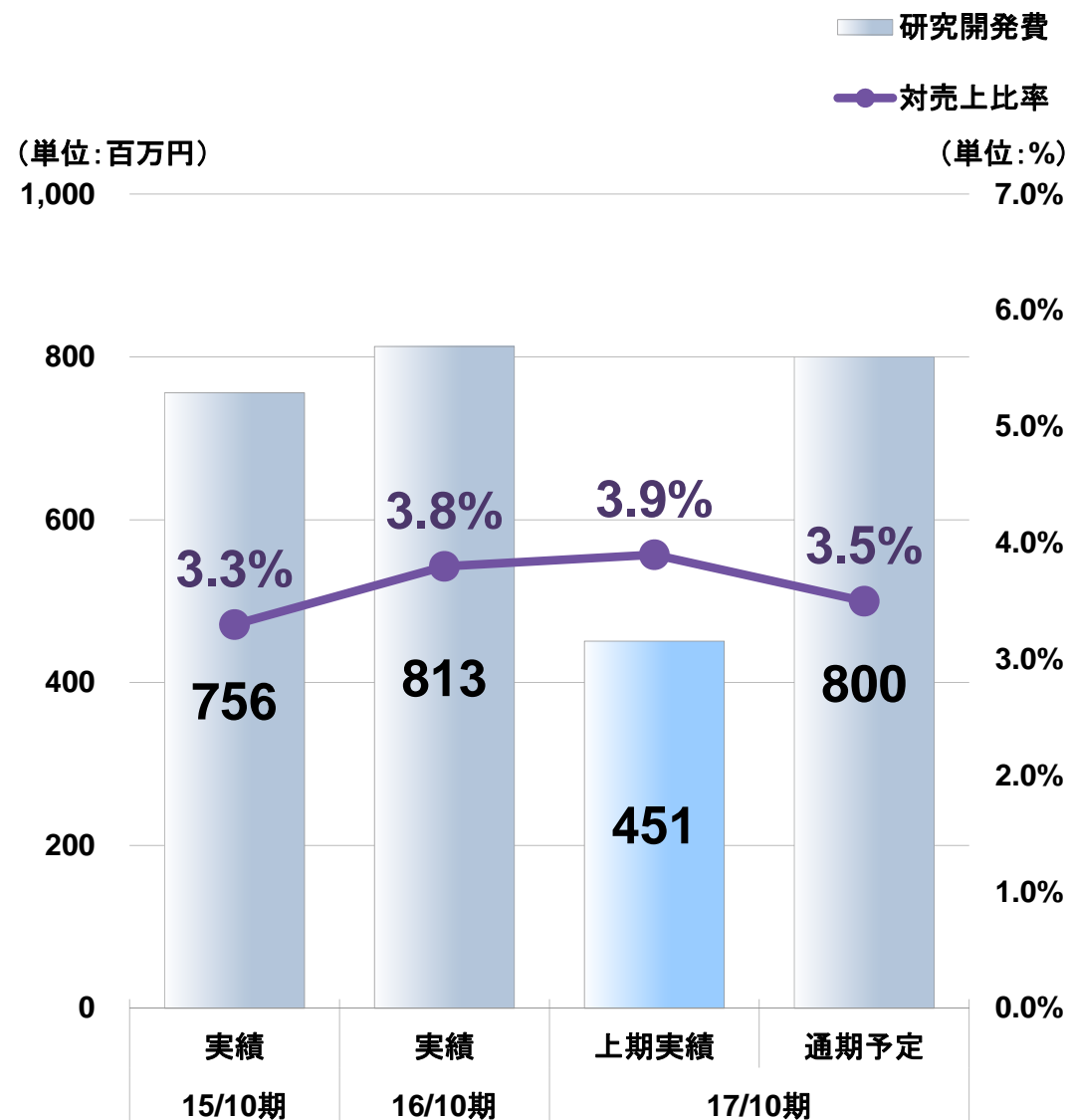




## 設備投資、減価償却費



## 研究開発費



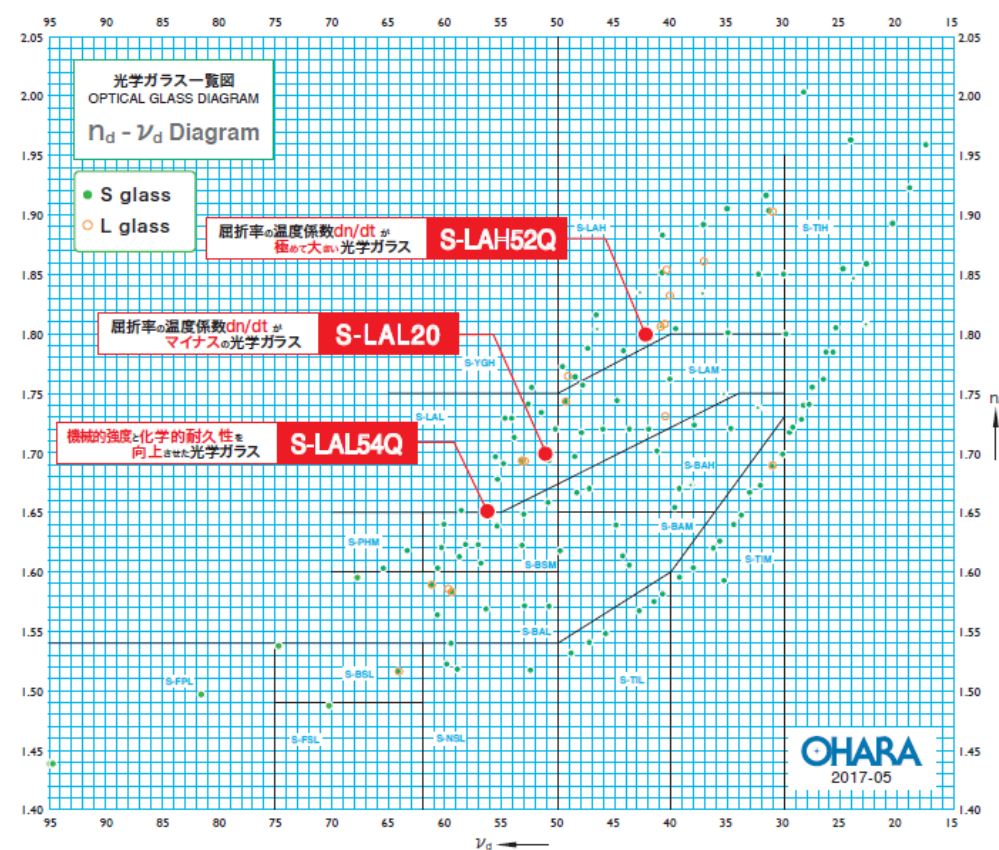
# トピックス：車載カメラ専用ガラス開発

## ◆ 車載カメラでの使用を前提に専用設計した特徴的な光学ガラスを3種一斉リリース

### <新製品の特徴>

	製品名	特徴
1	S-LAL20	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定焦点カメラにおける温度変化による焦点ズレの補正に効果的な光学ガラス</li> <li>補正機能と高屈折率を両立、カメラのコンパクト化に寄与</li> </ul>
2	S-LAH52Q	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定焦点カメラにおける温度変化による焦点ズレの補正に効果的な光学ガラス</li> </ul>
3	S-LAL54Q	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬く、劣化しにくい光学ガラス</li> </ul>

※ $dn/dt$ (屈折率の温度係数)  
温度変化に対する屈折率の変化度合い



# トピックス：ナノセラム™進捗①

- ◆ スマートフォン用において、  
液晶保護ガラスフィルム向けの販売は順調な一方、  
カバーガラス向けは、立ち上げに遅れ。  
17/10期売上予想を22億円から4億5千万円へ修正

## <アプリケーション別の取り組み状況>

	アプリケーション	取り組み状況
1	スマートフォン用カバーガラス	1社実機テスト完了、1社実機テスト継続中
2	スマートフォン用液晶保護ガラスフィルム	4月に2商品で採用されるなど、着実に実績拡大
3	スマートフォン用筐体	引き合い増加、色付きの要望多くサンプル開発中
4	時計等ウェアラブル機器	3社にて評価継続、うち1社実機販売計画中
5	その他	オートモーティブ、セキュリティ関連の評価継続中

# トピックス：ナノセラム™進捗②

- ◆ スマートフォンのカバーガラス向けとして、  
中国新興スマートフォンメーカー1社で量産試作完了
- ◆ スマートフォン用液晶保護ガラスフィルム向けとして、  
2017年4月末に、新規2製品へ採用決定

中国スマートフォンメーカー  
量産試作サンプル



SoftBank SELECTION  
ナノセラム™極強液晶保護ガラス for iPhone 7



パワーサポート社  
新世代 Glass Film GT 0.2



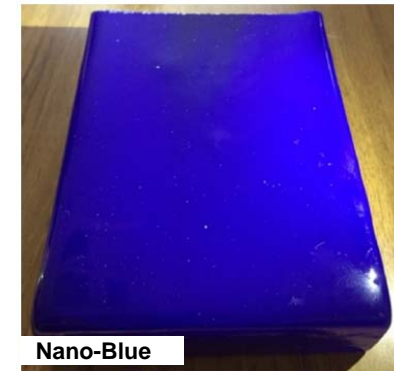
# トピックス：ナノセラム™進捗③

- スマートフォンの3D筐体向けのニーズが増加。  
◆ 着色工程を省くため、色付きガラスの要望高く、  
サンプルを開発中

3D加工サンプル(加工メーカー提供)



ナノセラム™着色品サンプル



**OHARA**